学校番号	208

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学) 数学応用 演習Ⅰ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	短期集中ゼミ 看護・医療系のための　数学Ⅰ・A（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は問題集を活用し，医療・看護系大学、専門学校への進学を希望している生徒、純粋に数学をより学びたいと考えている生徒に対して、数学Ⅰ・A の問題を中心とした演習形式の情業を展開し、数学の楽しさや美しさを味わえるように設定しました。

2　学習の到達目標

最終的に入試問題等を自分の力で解き進める力をつけることが目的です。

(1)　複雑な計算問題であっても、惑わされることなく論理的に一つ一つ計算を進めていくことができる知識や技能を養う。

(2)　問題文を読み，どの単元の問題なのか，どのようなパターンの解き方があるのか判断し、数学的に表現・処理したりする力を身に付けるようにする。

(3)　見たことのない問題であっても本質を見抜き，学んだパターンを活かし、主体的に粘り強く課題解決に取り組む力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	１年生で学習した数学Ⅰ・A の基礎を自分で復習し、学んだことを生かして発展的な内容の問題を解くための知識や技能が身についている。	身につけた知識や技能を応用して、今までに見たことのない問題や課題に対して思考力を働かせ、挑戦することができる。 また、同じ問題に対して複数の解法を考え、最適な解法を判断し、周囲が理解しやすい解法を表現することができる。	自分で考えた解法を周囲と共有する姿勢を重視する。 場合によっては数名の小集団を主体的に形成し、他者との対話や協同作業を大切にして、正解を導く人間性を獲得しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式　2次関数　集合と論理	数と式 2次関数 集合と論理	a.的確に展開や因数分解ができる。 a.２次関数の軸や頂点をもとめることができる。 a.整式を自由に変形することができる。 a.２次不等式を解くことができる。 a.共通部分と和集合を理解し、要素の個数を求めることができる。 b.定数や変数を意識しながら問題に取り組むことができる。 b.必要性・十分性を意識しながら解答を作ることができる。 c.自分の表現で論理的な答案を作ることができる。	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	取組態度 レポート 振り返り用紙 パフォーマンス課題
2学期	図形と計量　場合の数　整数の性質	図形と計量 場合の数 整数の性質	a.三角比の相互関係や値を求めることができる。 a.順列・組合せの計算を理解し，求めることができる。 a.数える対象をしっかりと判断ができる。 a.整式を自由に変形することができる。 b.不定方程式を解くことができる。 b.定数や変数を意識しながら問題に取り組むことができる。 c.現実の事象を数学的に置き換えて考察することができる。 c.自分の表現で論理的な答案を作ることができる。	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	取組態度 レポート 振り返り用紙 パフォーマンス課題

3学期	図形の性質 データの分析	図形の性質 データの分析	a.図形にからむ定理や公式を適用することができる。 a.基礎的な問題に対して平均値や分散・標準偏差を求めることができる。 b.箱ひげ図を正しく理解し、条件に合う人数を求めることができる。 c.現実の事象を数学的に置き換えて考察することができる。 c.自分の表現で論理的な答案を作ることができる。	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 定期考査	取組態度 レポート 振り返り用紙 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度